

！
要注意！

サクラの害虫

クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリはサクラ、ウメ、モモなどの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまうこともある特定外来生物です。
奈良県では2019年に確認されて以降年々被害が拡大しています。



県内の被害状況(R5.1月末現在)
(被害木・成虫確認場所を着色)

生きているサクラなどの木に

こんなフラス や こんな孔

がありませんか



フラスに
混ざる

木くずを
拡大すると…



樹皮を
剥がすと…



被害木の特徴

- 被害を受ける樹種はサクラ、ウメ、モモなどバラ科樹木
- 幼虫が木の内部を食い荒らすと、フラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)を大量に排出
- フラスが出る時期は3月末～10月末
- 樹皮を一部残した楕円形の孔が開いている
(脱出予定孔といい、成虫が外へ脱出する時にこの孔から出てきます。)

幼虫は1～3年間木の中で生活します。成虫となって木の中から飛び出し、たくさんの卵をサクラなどに産み付けます。



クビアカツヤカミキリ成虫

成虫の特徴

- 全体に光沢のある黒色で胸部が赤い
- 体長は2.5～4cm
- 活動時期は5月末～8月末

フラス・脱出予定孔を見つけたら…

ネットを巻く・薬剤を注入するなど
対策が必要です。

※成虫・フラス・脱出予定孔を発見した場合は、
下記へお問い合わせください。

成虫を見つけたら…

その場で踏みつぶすなど
駆除してください。

特定外来生物に指定されているため、
生きたまま移動させると違法行為となります。

問い合わせの前にご確認ください！

被害木は、**サクラ、ウメ、アンズ、スモモ、プルーン、モモ、ハナモモ**ですか？
上記以外の樹種からフラスが出ていても、クビアカツヤカミキリの被害ではありません。

農地以外の場合：最寄りの市町村担当課または県景観・自然環境課 ☎0742-27-8757
農地の場合：県病害虫防除所 ☎0744-47-4481
詳しくは、🌐www.pref.nara.jp/2613.htm